

社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会（令和6年度第2回）

議事概要

1. 日 時

令和7年3月11日（火） 10:00～11:50

2. 場 所

九州地方整備局（福岡第二合同庁舎） 2階共用第2・第3会議室

3. 出席者

〈委員長〉

円山 琢也 熊本大学大学院 先端科学研究部 教授

〈委員〉

石橋 知也 長崎大学大学院 工学研究科 准教授

大浦 敬子 株式会社 おとなの学校 代表取締役

一般社団法人 九州経済連合会 理事

片田江 由佳 福岡地域戦略推進協議会 ディレクター

笹川 理子 弁護士法人 笹川法律事務所 弁護士

嶋本 寛 宮崎大学 工学教育研究部 工学科 准教授

寺町 賢一 九州工業大学大学院 工学研究院

建設社会工学研究系 教授

戸田 順一郎 西南学院大学 商学部 商学科 教授

松永 千晶 福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 准教授

4. 議事内容

■新規事業採択時評価

【一般国道201号 みやこ行橋バイパス】

○周辺が既に事業化し、事業が進んでいるのに対して、本区間のみ 2 車線区間が残っているため、事業により交通渋滞の緩和につながるもの。

また、整備により交通事故の減少が期待され、円滑で安全な道路ネットワークの構築に役立つとともに、産業拠点や港湾、救急医療施設等へのアクセス向上、地域の産業活動の活性化等にも役に立つ道路である。

○一般国道201号 みやこ行橋バイパスの新規事業化については、妥当である。

【一般国道57号 熊本環状連絡道路】

- 熊本市中心部は渋滞が激しいため、短期的な対策も含めて、渋滞対策が喫緊の課題である。
- 本道路の価値は道路交通だけではなく、歩行者や自転車、公共交通利用者にも及ぶことを意識していただきたい。
交通が転換することで街中のにぎわい創出にも寄与すると思われる。
多様な効果に含まれる内容ではないため、今後似たような事例があった時は検討材料としていただきたい。
- 熊本環状連絡道路は大切な骨格道路であり、渋滞緩和につながるもの。
また、半導体企業等の立地が進む熊本県をさらに発展させるためにも非常に重要であり、日本の経済安全保障に貢献し、速達性・高速性・定時性の向上により、救急医療活動や観光産業の活性化の支援にもつながる道路であることから、これまで以上に早急な整備が必要である。
- 一般国道57号 熊本環状連絡道路の新規事業化については、妥当である。

【多様な便益・その他多様な効果】

- 道路の持つ効果は、地域産業の支援や雇用創出、救急医療活動の支援等、多様なものであり、それらの効果を貨幣換算し、参考値として示していくことは、あるべき道路事業の評価の姿に向けて一歩前進したと考える。
- 多様な便益のうち、走行時間信頼性向上便益は、現在使用している算出手法による結果は比較的低く感じる。
また、産業面での経済効果の算出方法や、CO2削減便益における建設時のCO2排出量の考慮等、今後も研究を続けていただきたい。

■ 計画段階評価

【有明海沿岸道路 長洲町～玉名市】

- 政策目標の設定、複数案の設定、評価項目の設定、複数案の比較評価、地域の意見聴取方法(案)については、妥当と判断する。
- 今後の意見聴取資料については、一般の方がより分かり易い表現となるよう可能な範囲で工夫して頂きたい。

以 上